

ベンダー発表 (ドーム発表)

プラネタリウムの社会的な使命

有限会社大平技研 大平貴之

皆さんは、実利に繋がりにくい天文学は何故必要なのか？そしてプラネタリウムは何のために存在しているのか？と疑問の声を投げかけられたり、自問自答したことはありませんか？

少子高齢化が進み、各自治体の財政も逼迫する中、高齢者福祉や環境問題など、私たちの社会が抱える問題が山積しています。その中で、それなりの高額な設備投資とランニングコストを必要とするプラネタリウムをあえて維持する必然性は何なのか？これはプラネタリウムに携わる人ならば必ず一度は直面する疑問だと思います。

私自身が、その答えを導く一つの契機を与えたのは、図らずも、あの、東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故でした。この国自体が危機に陥る中で、必ずしも私たちの生存のために必需品ではないプラネタリウムに何の意味があるのか？自問自答を繰り返した結果、私が導いた結論は、この国、いや世界全体の未来を市民全体で見つけるためにこそプラネタリウムは今後、重要な役目を果たすだろうという結論です。それは何故か？今回、大平技研という一企業の立場をあえて排し、私の考えるプラネタリウムの使命についてお話したいと思います。

「はやぶさ 2」 リュウグウ到着！ ショートクリップ映像のご紹介

有限会社 ライブ 上坂浩光

今年夏、いよいよ「はやぶさ 2」が小惑星リュウグウに到着します。これから一年半の探査が始まりますが、その詳細な様子をフルドーム映像のショートクリップとして、随時提供していくことを計画しています。実際のリュウグウの形状はどんなものになるのか？ タッチダウンやインパクターの発射など、実際の探査イベントからなるべく間をおかずに、ショートクリップの提供を行っていく予定です。

これらの映像は、「リュウグウパック」として、4 本程度になる予定です、生解説や、館のオリジナル番組に使用することができます（他館への配給はできません）。

今回の発表では、仮に作ったリュウグウを使い、「はやぶさ 2」がタッチダウンする様子をフルドーム映像でご覧いただけます。



合同会社アルタイル／最新配給作品について

合同会社アルタイル 加藤 治

この一年で配給を開始した作品についてご紹介します。

<A Theofanis Matsopoulos Production>

- ・火星～赤い惑星の謎～
- ・宇宙への第一歩
- ・遙かなる宇宙を追いかけて
- ・さよならカッシーニ

<田島秀樹事務所（有）>

- ・クリスマスファンタジー2
- ・迷宮のプラネタリウム2

<合同会社アルタイル>

- ・国際宇宙ステーションからの眺め
- ・オデッセイ 果てしなく美しい宇宙
- ・オーロラ ～夜空に舞う光のベール～



発表作品の詳細は、こちらをご覧ください。
スマホからでもご覧いただけます。

http://bit.ly/jpa_altair

コニカミノルタプラネタリウム(株)ドーム映像展 2018

コニカミノルタプラネタリウム株式会社 営業グループ日出奈緒子

当社はこの1年間で様々な種類の新作コンテンツを制作してきました。今大会では、そんな1年間の取組みや制作進行中の作品について紹介させていただきます。映像については、今夏リリース予定の「プラネタリウム はなかっぱ 花さけ!パッカ〜ん 宇宙旅行」のティザー映像をご覧ください。



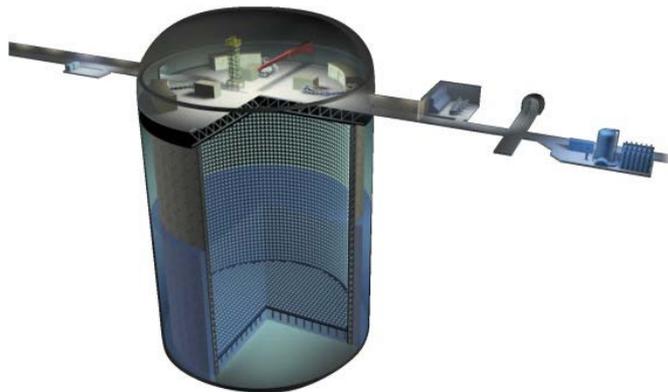
韓国から新しいフルドーム番組のご紹介

Metaspace

弊社では成功を収めた「オーロラ・生命の輝き」に続き、「コスモス・オデッセイ～大天文学史」(仮題)を新規制作中です。

番組のテーマは時間と空間。ビッグバンから現在まで、地球から遠い宇宙までを描きます。壮大な天文学の歴史を、3Dアニメーション・デジタルアート・科学シミュレーション・高解像度の実写映像など、様々な表現手法で描いていきます。

ベンダー発表では、最新天文学の紹介シーンとして、日本のニュートリノ検出装置「スーパーカミオカンデ」のドーム映像(CG)の一部をご覧いただきます。



スーパーカミオカンデ CG

D & D ピクチャーズ 2018 新作ラインナップ②

株式会社 D&D ピクチャーズ 室田 潤基

D & D ピクチャーズの2018年新作ラインナップ②をご案内致します。



ジュラシックヒーローズ 忍たま乱太郎の宇宙大冒険
星空の警備隊 with コズミックフロント☆NEXT
月ウサギが
クレーターをかけるの巻

コズミックフロント
～宇宙エレベーターの旅～

スペーステクノロジー
～宇宙から地球へ～

スターライトスタジオ 2018 新規制作コンテンツ・番組の紹介

合同会社スターライトスタジオ 三谷 真佐幸

(この行には記入しないでください)

当スタジオは、科学の面白さを伝えることに重きを置いたドーム映像・番組の制作を続けています。

加えて、ドームで開催されるイベントやコンサート等に活用できる SP(ショートピース) も幅広く制作しています。

今回も新たな全天 CG コンテンツや作品を紹介いたします。

■新番組『ユニバーサルヒーリング』

現在制作中の『ユニバーサルヒーリング』は、太陽系をテーマとした美しい科学映像による癒しに特化した内容となります。その奥行きのある映像は、まるで宇宙に抱かれるような没入感を味わうことができます。

心地よさを第一に感じてもらうためナレーションは入れず、音楽のみでの構成で進めています。

※大会では各種 SP と「ユニバーサルヒーリング」を紹介するドームデモを予定しています



全天映像新作『星の旅 -世界編-』のご紹介

KAGAYA スタジオ KAGAYA

星空を追う世界の旅をドーム映像で再現。

北半球から始まる旅。だんだん南半球に行くに従って風景とともに星空も変わっていきます。やがて日本（北半球中緯度地域）からは見えない南十字や南半球ならではの星空が見えてきます。観察緯度によって星空が変わるのはなぜか、天の川の正体は何かなどをCGパートでわかりやすく解説。

北米、ハワイ、オーストラリア、ウユニ、ニュージーランド。KAGAYA が3年かけて世界各地で撮影してきた星空映像満載の番組です。

ナレーション：安元洋貴

作品長さ：28分

2018年7月完成



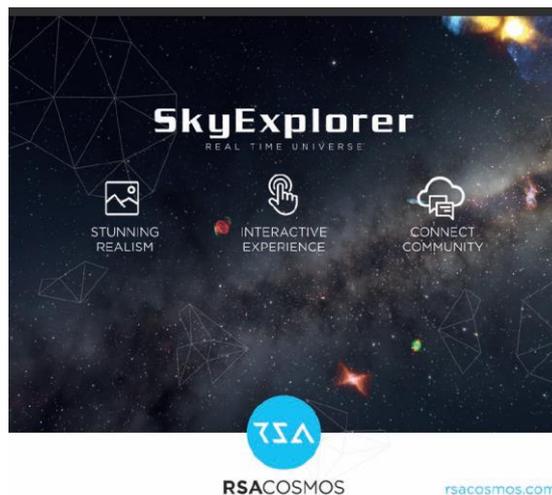
スカイエクスプローラー:リアリズム、インタラクティブ、コネクテッド

RSA Cosmos 社長 ベンジャミン・カブ

1985年の設立以来、RSA Cosmos はデジタルだけでなく、五藤光学研究所をパートナーとして世界中にハイブリッドプラネタリウムを設置しています。デジタルソフトウェアのスカイエクスプローラー最新版は以下の画期的な技術を提供します。

- 驚くべきリアリズム:比類なきボリユーメトリックな天の川、ブラックホール、高精細でリアルな地形と大気表現等。
- インタラクティブ体験:ユニークなドームビューを用いた iPad 操作、ワイヤレスのゲームパッド操作、本格的なレスポンスアナライザー等。
- コネクテッドコミュニティー:クラウド、ソーシャルネットワーク、Data2Dome、VAMP、WMS、Python 言語等。

スカイエクスプローラーはお客様に最高の経験を提供できる全ての機能を備えています。



新作配給番組『ポラリス 2（仮題）』のご紹介

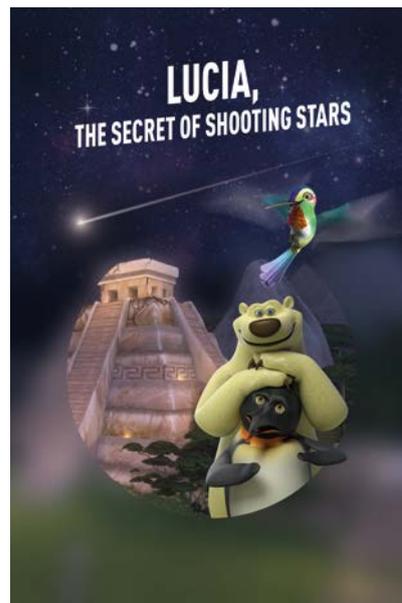
株式会社五藤光学研究所 鬼嶋清美

2015年に配給を開始しました、全天デジタル映像番組『ポラリス』。シロクマとペンギンのコンビのユーモアあるやりとりと、テンポの良い展開、極地における夏と冬の違いを視覚的にもわかりやすく描いたサイエンス解説のバランスの良さなどの点で、ご覧いただいたお客様から高評価をいただき、おかげさまで30館以上の施設で上映となりました。

多くの皆様から「早く続編を」の声をいただきましたが、ここにシリーズ新作のご紹介をいたします。

今度の舞台は赤道直下の国コロンビア。シロクマのレナードとペンギンのジェームズが出会ったハチドリのリシアとともに、宇宙からやってくる流れ星や隕石について調べます。

新たな謎に挑むポラリス号のふたりの冒険にご期待ください。



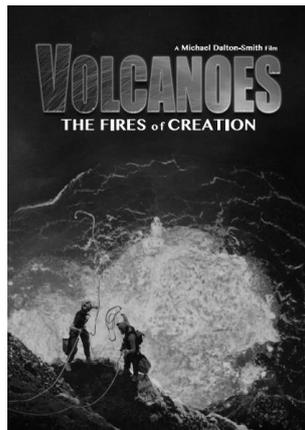
さらい新作のご紹介

株式会社さらい 立川翔太

今年の最新作の他に、完成目前の制作進行中の作品などお薦めの作品などをご紹介します。



テーマ：月
月の科学×娯楽×音楽で
楽しく学ぶ番組



テーマ：火山
8K カメラ撮影！迫力の
ドキュメンタリー映像



テーマ：スピードのふしぎ
フルアニメーション番組
©micro museum lab inc.



テーマ：色と心のふしぎ
原作絵本「なないろどうわ」
©micro museum lab inc.

エクスプローラーズ・ジャパン(株) 2018年配給番組・事業紹介

エクスプローラーズ・ジャパン(株) 川村総一

2018年の新作を中心に、当社で制作・配給しているプラネタリウム番組や
展示企画イベント、地域活性化、WEB事業についてもご紹介します

プラネタリウム番組

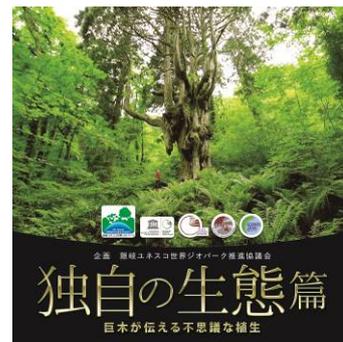


企画展示／イベントプロデュース



市民と共に創り上げた
「湘南ビタミンプロジェクト」

地域活性・情報発信



高精細映像
「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」

ベンダー発表 (ホール発表)

D & D ピクチャーズ 2018 新作ラインナップ①

株式会社 D&D ピクチャーズ 山口 理菜

D & D ピクチャーズの2018年新作ラインナップ①をご案内致します。



クレヨンしんちゃん
星空と学校の
七不思議だゾ！



かいけつゾロリ
Z Z (ダブルゼット)
のひみつ



ムーンナイト
モンスター



アマゾンアドベンチャー
いきものが伝える
進化のひみつ

五藤NOW 2018

株式会社五藤光学研究所

今年1年、多くの皆様に支持され、様々な取組を行って参りました。昨年のJPA広島大会で発表したオルフェウスは勿論のこと、ケイロンⅢやバーチャリウムXをはじめ、音響システム、ドームスクリーン、座席、室内内装工事など、プラネタリウムに関する事柄を皆様と共に創りだしてきました

本発表では、私たちがこの1年間に手掛けてきたこと、皆様にご評価いただいたこと、今後の取り組みなどについてご紹介します。

お楽しみに。



コニカミノルタプラネタリウムの取り組み 2017-2018

コニカミノルタプラネタリウム株式会社 営業部 藤掛曜平

2017年は当社にとって様々な挑戦「想いをカタチに」を行った年でした。
初めてのVR直営館 Virtua Link のオープン、インフィニウムΣと“満天”がグッドデザイン賞をダブル受賞、福岡市科学館に Gemini Star Σを初導入し初めての指定管理運営をスタート、“天空”のリニューアル、新開発の光学式 Cosmo Leap Σを岡山天文博物館様に初導入、3番目の直営施設を有楽町マリオンに「コニカミノルタ プラネタリア TOKYO」として誕生させることの発表など。それら取り組みの詳細、2017年度に当社の機器を導入いただいた施設、今後の当社の取り組みについてご紹介します。



暗黒宇宙の謎に挑むアルマ望遠鏡

国立天文台 平松正顕

アルマ望遠鏡は、南米チリの標高 5000m の高地で観測を行っている電波望遠鏡です。東アジア、欧州、北米、チリの 22 か国・地域が共同で運用しており、2011 年の観測開始以来、惑星の誕生現場を克明に描き出したり、130 億年以上むかしの宇宙に酸素を発見したり、またアミノ酸の材料になる有機化合物を若い星のまわりに見つかったりと、天文学を大きく変革しつつあります。

このアルマ望遠鏡の活躍と成果をより多くの皆さんと共有するために、国立天文台ではさまざまな広報活動を行っています。観測成果のプレスリリースやウェブサイト・SNS の運営の他、全国いろいろな場所での講演会や展示・プラネタリウム番組の監修や協力も行っています。

今回の発表では、アルマ望遠鏡の画像ライセンス（申請なしで自由に利用可）と、新たに企画している「マンガでわかるアルマ望遠鏡」シリーズ、プラネタリウム・科学館向けポスターシリーズなどについてご紹介します。ぜひご利用ください。

分子から電波が出るしくみ



ドーム向け作品視聴サイト「VR ドームシアター」のご紹介

カガクノトビラプロジェクト 小林道夫

カガクノトビラではドーム向け作品視聴サイト「VR ドームシアター」の開設を今夏～秋ごろに予定しております。「VR ドームシアター」はスマートフォン+VR ゴーグルを用い、ドームスクリーンによる投映体験を疑似的に実現、ドーム向け作品の視聴環境を提供します。

OS 依存のアプリとせず HTML5 プレーヤーにより幅広いデバイスに対応することで個人・家庭でのドーム映像作品鑑賞が可能となり、エンドユーザーに作品を直接届けることができるようになります。

またデジタルコンテンツ用 EC サイトを利用、課金設定もできますので、クリエイターにとってのいわゆる“出口問題” 解決への一つの選択肢としても期待できます。もちろん無料でトレーラー等を公開、外部サイトからリンクを張ることも可能です。



大平技研が描くプラネタリウムの新境地

有限会社大平技研 宮川隆幸

目まぐるしく進化を続けるプラネタリウム業界の中であって、常にその新境地の開拓に力を注いできた当社の取り組みを紹介します。常設では、最近特に伸びているのが海外であり、欧州やインドでの事例をご紹介します。一方、個人や商業施設向けに商品化したMEGASTAR-CLASSのさまざまな展開事例、各地でのイベント事例、そして昨年度に開発、石川県金沢市のキゴ山ふれあい研修センターに1号機を納入した新製品「MEGASTAR-Neo」について、その機能とコンセプトを紹介します。



プラネタリウム新機種
「MEGASTAR-Neo」

デジタルプラネタリウムを活用した学習投影

株式会社アストロアーツ 豊田哲也

現在は多彩な役割を担うプラネタリウムですが、もともと星の運行を説明するために開発されました。学習投影はプラネタリウムの本分ともいえる分野です。デジタル式による高い表現力と即応性の高さは、学習投影においても大きな力を発揮します。本発表では、ステラドームの学習投影機能をご紹介します。

また、アストロアーツはプラネタリウムだけではなく、出版からコンシューマ向け天文ソフトに至るまで様々な手法を用い、天文普及に向けて多面的・総合的アプローチを行っています。天文に対するアストロアーツならではの取り組みも、合わせてご紹介します。

